

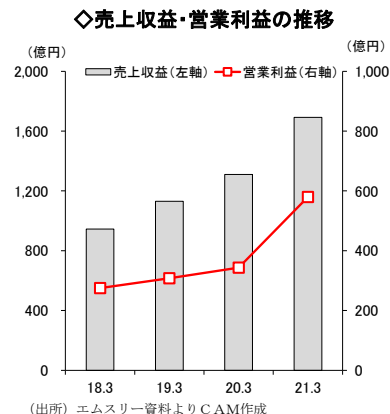
# 企業ニュース エムスリー

(東証1部 : 2413) <https://corporate.m3.com/>

作成者:村上大志

## インターネットを活用し医療従事者向けサービスを展開

2000年設立。インターネットを活用し医療従事者向けに様々なサービスを展開する。主力のメディカルプラットフォーム事業では、国内医師の約90%以上にあたる30万人以上の医師が利用する日本最大級の医療従事者専用サイト「m3.com」を運営する。同サイト上では、同社と契約した製薬企業のMR（医薬情報担当者）が最新の医療・医薬品情報などを提供する「MR君」の各種サービスなどを提供する。そのほか、治験支援サービスや医師・薬剤師向けの求人・求職支援サービス、医療機関の運営をサポートする各種サービスなどを展開。海外でも製薬マーケティング支援サービスや治験支援サービスを手掛ける。21.3期のセグメント別売上収益構成比はメディカルプラットフォーム45%、エビデンスソリューション11%、キャリアソリューション8%、サイトソリューション10%、海外24%、その他エマージング事業群2%。



## 医療・製薬業界のオンラインシフト加速で需要が拡大

21.3期の連結業績は売上収益が1,692億円、前期比29%増、営業利益が580億円、同69%増。メディカルプラットフォームの売上収益が同50%増、セグメント利益が同97%増、海外の売上収益が同41%増、セグメント利益が同120%増と、業績をけん引。新型コロナウイルスの感染拡大で国内とアジア地域で製薬マーケティング支援の需要が急拡大したほか、米国では新型コロナ関連の治験プロジェクトの受注が拡大した。一方、感染拡大の悪影響により国内の治験支援サービスなどのエビデンスソリューションと、人材サービスなどのキャリアソリューションは低調だった。

22.3期の会社計画は、新型コロナウイルスの感染拡大による事業への影響を合理的に算定することが困難なため未開示だが、高い成長は続く見込み。6月からワクチンの職場接種を実施する企業に医師の紹介を始めている。引き合いは強い模様で業績への貢献が見込まれる。また、医療・製薬業界のオンラインシフト加速でクラウド型電子カルテサービス「M3デジタル」や、LINEと共同で提供するオンライン診療サービスの拡大が期待される。

### [株価動向・投資判断]

同社はコロナ禍におけるグロース企業の象徴的な存在として昨年株価が大幅に上昇した。今年に入り過熱感などから下落したが、高い成長期待は不変。

<2413 エムスリー 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	130,973 ( 16)	34,337 ( 11)	34,610 ( 12)	21,635 ( 11)	31.9	8.50
21.3	169,198 ( 29)	57,972 ( 69)	58,264 ( 68)	37,822 ( 75)	55.7	12.00
22.3 予	- ( -)	- ( -)	- ( -)	- ( -)	-	未定

(注) 22.3期の業績予想は新型コロナウイルス感染拡大による事業環境への影響を合理的に算定することが困難なため未開示



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2021/7/2)	8,035 円
年初来高値 (高値日)	10,675 円 (21/1/8)
同 安値 (安値日)	6,860 円 (21/5/19)
予想 P E R (22.3 予)	— 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	294.4 円
P B R	27.29 倍
予想配当利回り	— %
(1株当たり配当金 未定)	
R O E (21.3)	20.7 %
発行済み株式数	67,879 万株